



市会だより

第115号
令和3年(2021年)
5月15日発行

京都市会ホームページ 京都市会 検索

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713 京都市印刷物 第036007号

2月市会の報告(後半)

令和3年度当初予算等を



3月26日の本会議で、令和3年度当初予算や、新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度補正予算、令和3年度の議員報酬等を1億円削減する議員提出議案等を可決しました。

令和3年度当初予算

合計 1兆8,877億円	一般会計 1兆5億円	特別会計(国民健康保険等) 6,254億円	公営企業会計(上下水道、市バス・地下鉄) 2,618億円
--------------	------------	-----------------------	------------------------------



議論の一部を御紹介

令和3年度当初予算全般

コロナ禍と財政の二つの危機を切り分けて対応し、財政再建と市民サービスのバランスを取りながら市政運営を行うべき。

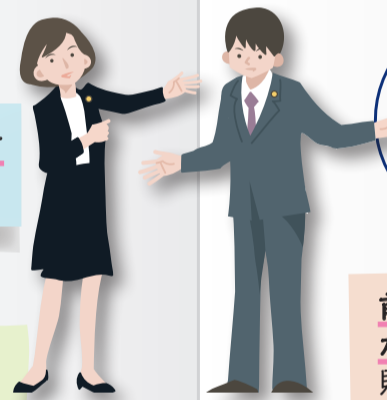
新型コロナウイルス感染症のまん延という惨事に乗じた、福祉削減の姿勢は転換すべき。

都市建設

予算が確保できない中でも工夫して災害防除等の安全対策に取り組むべき。

市バス・地下鉄

路線・ダイヤの見直しや運賃改定の検討が避けられない中で、厳しい経営状況等を市民に分かりやすく示し、理解を得るべき。



議論の一部を御紹介

基本計画案を修正可決

令和3年度から令和7年までに取り組む主要な政策を示す「京都市基本計画」について、10年ぶりに設置された基本計画審査特別委員会で審査しました。計画案から、借金返済に備えた公債償還基金を取り崩して不足する財源を補うことを前提とした表現を削除し、可決しました。



市長等に対する総括質疑

厳しい財政状況を市民と共有するため行政コストの公開や削減による成果などを分かりやすく伝えるべき。

前期計画のように見通しどりの財政運営ができなかったことを繰り返さないよう、行財政改革を確実に実施すべき。

切れ目のない支援！ 更なる新型コロナウイルス感染症対策

補正予算(第9弾:15億円、第10弾:20億円)を全会一致で可決

第9弾 事業内容

新型コロナウイルス感染症対策補正予算(第8弾)に付した付帯決議の内容を踏まえ、時短要請協力金の対象外の中小企業等に対する本市独自の支援制度を創設。

第10弾 事業内容

低所得の子育て世帯の生活を支援するため、児童1人当たり5万円を給付。(迅速に対応するため、委員会に付託せず可決)

令和3年度当初予算に対して付帯決議を付しました。

- ・全職員が本市の厳しい財政状況を理解し、市民に対して真摯に分かりやすく説明すること。
- ・国に対する要望の内容を十分に考慮すること。
- ・財源捻出として215億円の改革をしたとのことだが、行財政改革になじまないものもあることが分かったため、その内容を精査すること。

※付帯決議とは…可決した議案に付ける、市会から市長への意見・要望。

意見書 ~市会から国へ~

選択的夫婦別氏(別姓)制度について

- ・様々な意見がある中で、国会での国民的議論の実施を求める。
- ・法制化に向けた議論の促進を図ることを求める。

LGBT等(性的少数者)について

- ・社会的理解を一層進めるための取組の推進を求める。

詳しい審議結果は、2面へ!

令和3年2月市会の内容は、

市会ホームページへ!

令和2年度補正予算の審議や代表質疑などを行った2月市会前半の内容については、前号(第114号)に掲載しておりますので、市会ホームページなどから御覧ください。

